



photo by Σ64 CC-BY, from Wikimedia Commons

リュウタン（龍胆）

語源

Gentiana：本植物の薬効を記載したエジプトIllyria王の名（Gentius）から。

scabra：茎葉がザラザラという意味。

「龍胆」は、苦味の強いことでよく知られる熊胆に比べても苦味が劣らないところから龍の胆と名付けられた。植物名のリンドウは「リュウタン」が訛ったもの。

基原

Gentiana scabra

トウリンドウ

Gentiana manshurica

マンシュウリンドウ

Gentiana triflora

リンドウ科 多年生草本

薬用部分

根及び根茎

産地

中国（東北、内蒙古、華中）、韓国、日本

主な成分

苦味配糖体（ゲンチオピクロシド、トリフロロシド、ベンゾイルトリフロロシド、リンドシド、スウェルチアマリン、スウェロシド、スカブラシド）、キサントン類（黄色素：ゲンチシン）、糖類（ゲンチアノース、ゲンチオビオース）、ゲンチシン酸

主な薬効

胃液分泌促進、腸管運動促進、抗菌、抗炎症作用など

代表的処方

主として漢方処方用薬であり、尿路疾患用薬とみなされる処方及びその他の処方に少数例配合されている。

【龍胆瀉肝湯】

リュウタンシャカントウ

頭痛、目の充血、脇痛、口の苦み、耳聾、耳の腫れ、舌の紅みと舌苔の黄色、陰部の腫れ、陰部の痒み、小便淋濁、帯下が黄色く臭い、比較的体力があり、下腹部筋肉が緊張する傾向があるもの（排尿痛、残尿感、尿の濁り、こしけ）

（処方内容） 当帰／地黄／木通／黄芩／沢瀉／車前子／龍胆／山梔子／甘草

【加味解毒湯】

カミゲドクトウ

血色のよい比較的体力があるものの次の諸症： 小便がしぶって出にくいもの、痔疾（いぼ痔、痔痛、痔出血）

（処方内容） 黄蓮／黄芩／黄柏／山梔子／柴胡／茵陳蒿／龍胆／木通／滑石／升麻／甘草／灯心草／大黄

文献報告

【健胃】

生薬の薬物学的研究（第4報） リンドウ科苦味生薬のラットの胃液分泌ならびに生長におよぼす影響

薬学雑誌, 1961, 81, 1387-90

【肝保護】

Gentiana manshurica Kitagawa prevents acetaminophen-induced acute hepatic injury in mice via inhibiting JNK/ERK MAPK pathway

World J. Gastroenterol, 2010, 16, 384-91

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「牧野和漢薬草大図鑑」「漢方のくすりの事典」「和漢薬の事典」「家庭の民間薬・漢方薬」「日本薬草全書」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力
福田龍株式会社

（お問い合わせ） 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11
TEL：06-6364-5861 FAX：06-6364-6562
URL：www.fukudaryu.co.jp